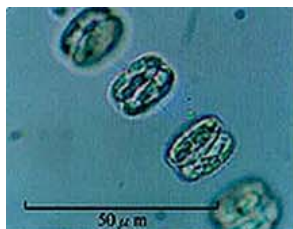
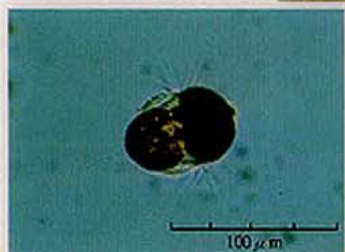


東京都内湾の主な赤潮プランクトン



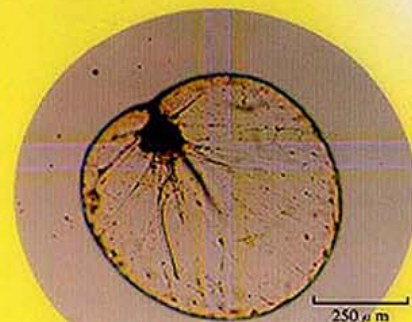
●タラシオシラの仲間

珪藻の仲間。細胞は円盤状で連結糸でつながっている。夏から秋にかけて東京湾でしばしば赤潮となる。



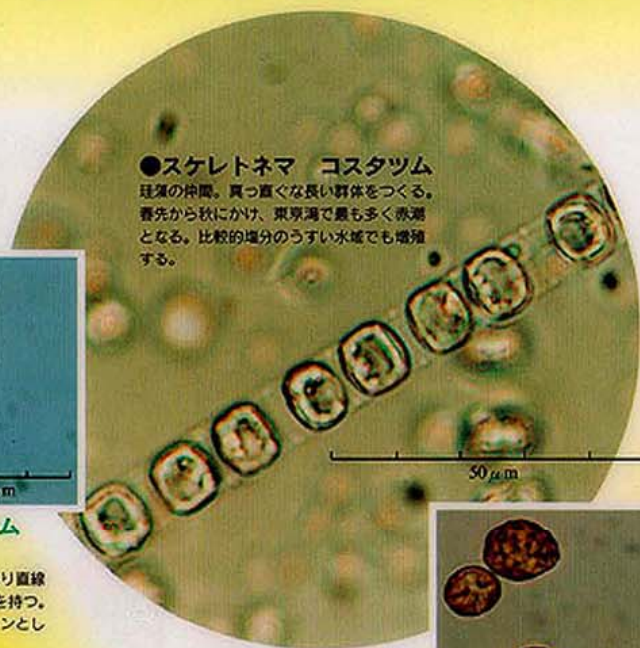
●メソディニウム ルブルム (赤潮うず虫)

動物プランクトン。ダルマ型をしており直線的にはねるように動く。体内に葉緑体を持つ。赤紫色の赤潮をおこす動物プランクトンとして有名。



●ノクチルカ シンチランズ(夜光虫)

刺激を受けると発光するので夜光虫と呼ばれる。直径1mm前後のほぼ球形。トマトジュース色の赤潮となる。



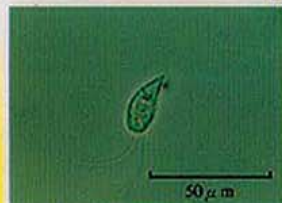
●スケレトネマ コスタツム

珪藻の仲間。真っ直ぐな長い群体をつくる。春先から秋にかけて、東京湾で最も多く赤潮となる。比較的塩分のうすい水域でも増殖する。



●ヘテロシグマ アカシオ

形は小型の楕円形。ひらひらと回転しながら泳ぐ。初夏から秋口にかけてしばしば茶褐色の濃い赤潮となる。



●クリプト藻の仲間

細胞は小型。卵形で前端から長さの異なる2本の鞭毛が出る。東京湾でしばしば赤潮をおこす。



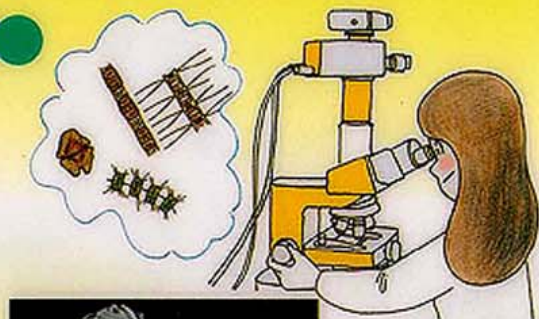
●ユーカンピア ソディアクス

珪藻の仲間。細胞は扁平で、らせん状の群体を作る。春から夏にかけて東京湾に出現する。



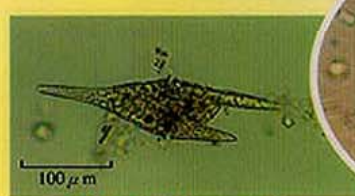
●ミドリムシの仲間

細胞は紡錘形。比較的汚染の進んだ水域に多い。東京都内湾では調査を開始した昭和52年度からしばしば赤潮となったが、昭和61年度以降はおこしていない。



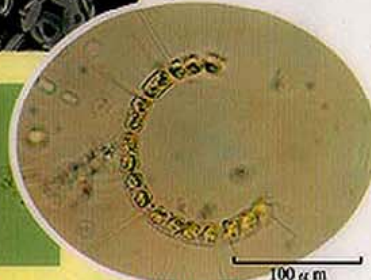
●ゲフィロカプサ オセアニカ

細胞は小型。円石と呼ぶ鱗片をもつ。平成7年5月に赤潮となり、東京湾を黄土色にして話題となった。電子顕微鏡で撮影。



●ケラチウム フルカ

細胞は前後に長く、一方が二股になっている。熱帯から寒帯までの世界の沿岸に分布し、時に内湾で赤潮をおこすことがある。



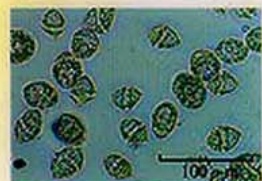
●キートケロス デビレ

珪藻の仲間。らせん形の群体となり、外側に刺毛が伸びる。日本沿岸に普通に分布し、低水温期に多く出現する。



●プロクロンテム ミニムム

細胞は三角形、卵形、まるみを帯びた五面形などの形になる。内湾や汽水域に分布し、春から夏にかけて赤潮をおこすことがある。



●ヘテロカプサ トリケトラ

小型の内湾産で、東京湾では春先に多く出現する。平成6年3月に茶褐色の濃い赤潮となった。